

低コスト、短工期のアスベスト対策

一括噴霧による『封じ込め工法』を提案

センコー産業(株)

近年アスベストによる健康被害が表面化。大きな社会問題となり、官民問わず様々なアスベスト対策がおこなわれてきている。

ビルの天井裏など生活の身近な場所を利用されてきたアスベスト。その対策はこれまでスタンダードな除去工法と、囲い込み工法が主流であった。

二つの工法のデメリットをカバーする画期的な工法が、有限責任事業組合ハイスペック・アスベスト対策協議会（東京都 桂 勤代表）の提案する『封じ込め工法』である。

住民、作業員、周辺環境や廃棄物処理における全ての安全を確保すべく考案されたのが一括噴霧工法（ハイアス工法）。大臣認定を受けた薬剤をアスベスト建材の表面に噴霧し固化、飛散を防止するというもの。

施工対象の空間にミスト噴霧器を設置し、遠隔操作により一括噴霧するため、基本的には作業空間に作業者がいない無人状態で施工できると

いう。従来の工法では的確な処理が困難であった、エレベータシャフト内や天井裏など狭小空間の対策に、より効果的だ。

JAXA（宇宙航空研究開発機構）の技術を応用した特殊な噴霧ノズルを使用。目詰まりすることなく均一サイズの霧を安定的に噴霧できる。

高い安全性を保ちつつ、低コストかつ短工期の施工がハイアス工法の最大の特長だ。

この画期的な工法の施工業者がセンコー産業(株)（高松市春日町一六四二―四 友國裕典社長）。先ごろ同協議会の中四国地区代理店である有限責任事業組合ハイアス協議会中四国（広島市 森川 誠代表）との業務提携を行い、石綿作業主任者・特別管理産業廃棄物管理責任者（三浦修一氏）を社内には配置し本格的な提案を進めている。

「上場企業やその子会社等に対して、資産除去債務の計上が義務づけられ、アスベスト対策は企業にとって今まで以上に重要な経営課題とな

分析から受け付けている、まずは相談して欲しい」（友國社長）

ハイアス工法は事業所やテナントの休みにあわせて短期間で施工が可能。中四国エリアでは先ごろ、広島市のバスセンターでも実績を残した。当社はアスベスト有無の調査、



友國社長

三浦修一氏

全国的に広がりを見せている同工法。東京大手町の合同庁舎エレベータシャフト内のアスベスト対策として採用されたほか、民間ビルでの採用も拡大している。